

2013年4月3日

報道関係各位

グランフロント大阪 開発事業者 12社

N T T 都市開発株式会社	株式会社大林組
オリックス不動産株式会社	関電不動産株式会社
新日鉄興和不動産株式会社	積水ハウス株式会社
株式会社竹中工務店	東京建物株式会社
日本土地建物株式会社	阪急電鉄株式会社
三井住友信託銀行株式会社	三菱地所株式会社

一般社団法人グランフロント大阪 TMO

グランフロント大阪

「参加型のまちづくり」に向けた取組み概要発表

賑わいに溢れるまちを創出する主催/協力事業「まちびらき記念イベント/プロジェクト」

“あなたの夢”を叶える地域サークル活動の支援体制「ソシオ制度」

まちや来街者との新たな交流を育む「コンパスサービス」

グランフロント大阪開発事業者12社及びまちの一体的な運営組織、一般社団法人グランフロント大阪TMO（以下「TMO」）は、2013年4月26日（金）のまちびらき以降、継続的且つ自発的にお客様が日々足を運びたくなる賑わいと活気溢れるまちを実現すべく、商業、ナレッジキャピタル、オフィス、ホテル等からなる複合施設と豊かなオープンスペース等を活用した、人の営みが中心となる「新しい参加型のまちづくり」に取り組んでいます。

このたび、当取り組みの一環として、まちに賑わいと活気をもたらす主催事業、協力事業（「まちびらき記念イベント」、「新規プロジェクト」）の開催概要、多様な人々の夢を叶える地域サークルを支援する「ソシオ制度」、及びまちや来街者との新たな交流を育むためのユビキタス環境を活用した「コンパスサービス」に関する詳細が固まりましたので、下記のとおり発表いたします。

記

1. 賑わいに溢れるまちを創出する主催/協力事業「まちびらき記念イベント/プロジェクト」

- ① まちびらき記念イベント「A BRIDGE TO THE FUTURE ～未来への架け橋～」
- ② 東日本大震災復興支援活動「モアイプロジェクト」/モアイ像の大阪展示「Moai 未来に生きる」
- ③ 新たなエンターテイメント・コンテンツを発信する「ロボット・スキャンダル」プロジェクト

2. 開発ビジョン「新しい参加型のまちづくり」実現の為にコミュニティ・プラットフォーム

（1）“あなたの夢”を叶える地域サークル活動の支援体制「ソシオ制度」

豊かなオープンスペース等を活用し、自らの夢の実現を通じて、地域・社会に貢献していただける地域サークル活動を支援する、コミュニティ活動支援制度です。

（2）まちや来街者との新たな交流を育む「コンパスサービス」

人とまちが相互に交流を楽しみ、そこに新たな人と人のつながりが生まれる、新しい人とまちの関わり方をつくる、IT情報ネットワークサービスです。

1. 賑わいに溢れるまちを創出する主催/協力事業「まちびらき記念イベント/プロジェクト」

① グランフロント大阪まちびらき記念イベント（12 社主催事業）

「A BRIDGE TO THE FUTURE ～未来への架け橋～」を開催

1日の平均乗降客数、約250万人を誇る日本を代表するターミナル「大阪・梅田」の駅前に立地し、大阪の新しい顔となる「うめきた広場」のお披露目を兼ねて、グランフロント大阪まちびらき記念イベント「A BRIDGE TO THE FUTURE ～未来への架け橋～」を同広場にて開催いたします。本イベントは、「3Dプロジェクションマッピング」の映像手法によるうめきた広場にふさわしい、ダイナミックな光と映像のインスタレーションです。加えて、うめきた広場に常設されたLEDとフォグ（霧）による環境演出のプレゼンテーションも行います。

映像の制作は、「エッフェル塔建立120周年記念イベント」にてエッフェル塔を舞台に「3Dプロジェクションマッピング」作品を披露し、話題を席捲したフランス人クリエイティブグループ「COSMO AV」が担当。日本国内では彼らの作品は初公開となります。

制作コンセプトは、グランフロント大阪というまちの持つ「ゆめ」への誘い。ナレッジ、文化、エコロジー等、グランフロント大阪が受け継ぎ、今後、語り継いでいく「伝統」と「先進性」を詩的なシーンで表現します。うめきた広場に面した2階建て建物「うめきたSHIP」壁面をスクリーンに、琴の音色で巨大な空間が目覚まし、そして過去から現在へと大阪が受け継いできた世界へ、観客の旅が始まります。建物前面のそれぞれの稜線をなぞっていく演出と、楽しくエレクトロニックな臨場感あふれる雰囲気の中での色とりどりのシンフォニーを奏でます。

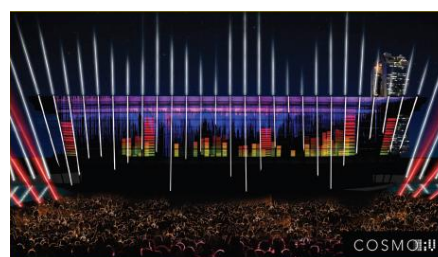
グランフロント大阪の誕生を待ちわびて、この街にお越し頂いた大勢の方々に、ダイナミックな驚きと感動体験をご提供致します。

尚、一般来街者を対象としたまちびらき記念イベントの開催日程につきましては、4月23日（火）に詳細発表いたしますが、同イベントの開催に先立ち、4月23日（火）19時より、同日実施するプレス、関係者内覧会ご招待者を対象にしたプレビューイベントを開催いたします。

プレビューイベントの詳細は、次ページの通りです。

まちびらき記念イベント「A BRIDGE TO THE FUTURE ～未来への架け橋～」プレビュー概要

- ・日 程：4月23日（火）
- ・開催場所：うめきた広場（※投影場所：うめきたSHIP壁面）
- ・対 象 者：同日開催するプレス、関係者向け内覧会ご招待者
※一般観覧は行っておりません。ご注意ください。
- ・実施時間：18:00～ 報道受付（当イベントの一般公開日程も発表します）
18:45～ LEDとfog（霧）による環境演出のプレゼンテーション（約5分）
19:00～ 光と映像のインスタレーション上映（約10分）
※以降、複数回実施。2回目以降は、映像ショーのみ上映。
21:00頃 終了予定



【クリエイティブグループ COSMO AVについて】

Pierre-Yves TOULOT（代表取締役社長・ディレクター）率いる、アートディレクター、CG / モーションデザイナー、3Dデザイナー、照明デザイナー、ミュージシャン、サウンドデザイナー、テクニカルデザイナー等から構成される10名のクリエイティブ集団。

巨大映像投影や、規格外の大きさの映像投影ショーを専門に企画、製作。照明を使って絵を描いたり、古代の巨大な建造物や現代的な建物の細部まで、3Dプロジェクションマッピング投影を世界中で行う。

※主な実績 エッフェル塔（フランス / パリ）・ヴェルサイユ宮殿（フランス）・
ソカロカテドラル（メキシコ / メキシコシティ） など

南米チリ・イースター島のモアイ像を東日本大震災からの復興のシンボルとして
宮城県南三陸町に寄贈する「モアイプロジェクト」(TMO協力事業)

②モアイ像の大阪展示「Moai未来に生きる」を開催

－5月2日(木)～9日(木)、グランフロント大阪 うめきた広場－

東日本大震災からの復興及び日本とチリの友好のシンボルとして、チリ・イースター島の自然石から島民の手で造られたモアイ像を宮城県南三陸町に寄贈する「モアイプロジェクト／Moai 未来に生きる」(主催：モアイプロジェクト実行委員会)を、5月2日(木)～9日(木)の期間、グランフロント大阪・うめきた広場で開催いたします。全長約3m、重さ約2トンのモアイ像の展示に加え、寄贈の経緯やモアイの意味を紹介するパネル展示、南三陸町やチリの物産展なども開催します。

“モアイ(Moai)”には「未来に、生きる」という意味が込められています。モアイプロジェクトは1960年のチリ地震津波から始まったチリと南三陸町との友好に端を発し、東日本大震災で倒壊した町のモアイ像を復活させたいとする南三陸町の志津川高校の生徒たちと、同じ地震津波国であるチリの人々の、被災地の未来に向けた想いが結実したものです。

関西においてはかつて阪神淡路大震災で被災し、その復興の経験を踏まえ、東日本大震災時にも多くの支援をしてきておりますが、モアイ像を寄贈するチリ国民の想いを広く日本の皆さまにお伝えし、被災地の更なる復興への関心とアクションを呼び起こす機会になることを祈念し、同展示をグランフロント大阪にて開催するものです。

尚、大阪での展示終了後は5月25日(土)、南三陸町でチリ側関係者の参列のもと、寄贈・開眼式典が開催される予定です。



モアイ像大阪展示「Moai 未来に生きる」概要

【日 時】 2013年5月2日（木）～5月9日（木）（8日間）

【会 場】 グランフロント大阪 うめきた広場

【内 容】

◇モアイ像展示

南三陸町に寄贈する、イースター島の自然石で造られたモアイ像を展示します。

◇パネル展示

「チリと日本・南三陸町とのつながり」「モアイの持つ意味と込められた想い」「南三陸町の現状と未来」の3つのテーマで、モアイ寄贈の背景・意味を紹介します。

◇物産展

南三陸町とチリの物産展を実施します。売上の一部を義捐金として被災地に寄付します。

◇応援メッセージ

南三陸町の方々への応援メッセージを書き込めるコーナーを設置します。

併せて、志津川高校から南三陸町にバスを寄贈するためのチャリティー活動を行います。

*上記内容は変更になる可能性があります。

【主催】 モアイプロジェクト実行委員会

構成団体：南三陸町、駐日チリ共和国大使館、日智経済委員会、エスペランサ委員会(*)

委員長：佐々木幹夫（日智経済委員会 委員長）

【後援】 外務省、南三陸町国際交流協会、日本チリー協会、ラテンアメリカ協会、

日本商工会議所、東京商工会議所、NHK、日本経済新聞社

【特別協賛】 三菱商事株式会社

【特別協力】 三菱地所株式会社、三菱地所ビルマネジメント株式会社、

一般社団法人グランフロント大阪TMO、日本郵船株式会社、飛鳥建設株式会社

【協力】 日経ナショナルジオグラフィック社

(*) エスペランサ委員会：

日本とチリの民間企業で構成される日智経済委員会のチリ側メンバーのうち、日本と商取引をもつ企業で設立した委員会。この委員会によりチリで義捐金が募集され、モアイ像寄贈などのプロジェクトが進められている。

参考

■津波が生んだ絆

南三陸町とチリを結ぶモアイ像の歴史は1960年まで遡ります。この年、チリはマグニチュード(M) 9.5の大地震に見舞われ、1,600人超の人々が犠牲となりました。この地震は太平洋を隔てた日本にも津波被害をもたらし、南三陸町でも41人が亡くなりました。それから30年後の1990年、津波災害を忘れず、町民の防災意識を高めるため、南三陸町では記念行事を計画。翌年「友好と防災のシンボル」とし

てモアイ像が海岸沿いの松原公園に設置されました。それ以後、この像は20年間余り南三陸町民から防災のシンボルとして愛されてきました。

＊このモアイ像は、チリ本土の彫刻家に依頼し制作したもので、石材はチリ本土のもの。

■モアイ像で町を復興

しかし、2011年3月11日の東日本大震災で南三陸町は甚大な被害を受けました。モアイ像の胴部は記念塔に残りましたが、2mの頭部は流れ出し「松原公園」の一角で発見されました。地元の志津川高校では、震災前から授業の一環として、モアイ像を町おこし・防災のシンボルとして活用するため、『南三陸モアイ化計画』をスタートさせていました。しかし、その矢先に起きたのが東日本大震災です。震災後、瓦礫集積場となった松原公園に無傷で残っていたモアイ像の頭部は、地元の志津川高校生徒の強い希望により、同校の敷地内に移設されました。そして志津川高校の生徒たちが今、町の復興にモアイを役立てようとしています。

■志津川高校の生徒の想いがチリの人々を動かす

日智経済委員会チリ側委員会の関係者は、ESPERANZA（エスペランサ/希望）委員会を組織し、日本と関係の深い企業からの義捐金を被災地に贈ろうとしていましたが、南三陸町のモアイ像が倒壊したこと、志津川高校の生徒達がモアイ像をイメージにしてキャンペーンを行っていたことを知り、イースター島で制作する新しいモアイ像を贈るアイディアを2011年11月に南三陸町を訪れ伝えました。町がこの申し出を受け入れたことで、委員会はイースター島長老会にこのプロジェクトへの協力を求めたところ、島側は高校生のモアイへの気持ちと、日本人がかつて島のモアイ復旧に尽くしたお礼の意味をこめ、門外不出のイースター島の自然石を使い、現地彫刻家の手による製作を無償で引き受けることを申し出ました。2012年3月、チリ共和国のセバスティアン・ピニェラ大統領が、弔意を表すため来町し、被災状況を視察、チリ国民からの応援の証、復興の希望としてモアイ像を寄贈することを改めて約束しました。生徒たちの想いがプロジェクトを再開し、遙か海を越え、チリの人々の心を動かすことになったのです。

■イースター島のモアイ像の修復の経験のある石工・左野勝司氏が参画

かつてイースター島で倒れたモアイ像を立て直す修復作業に携わった経験を持つ、左野勝司氏（70歳）が、今回モアイ像の台座の製作を行いました。

左野氏は「このモアイ像にはイースター島の方々の想いが詰まっている。南三陸町のためにイースター島の方々が必死になって作ってくれたことに感謝している。町と島との歴史がずっと続くように、石屋を営んでいた方と協力して台座を作りあげたい」と話しています。

＜左野勝司氏 プロフィール＞

昭和18年生まれ。和歌山県出身。飛鳥建設（奈良市）社長。藤ノ木古墳石棺や高松塚古墳石室など寺院・神社の石造文化財の調査や修理・復元をはじめ、エジプト・スフィンクスの保全調査やイースター島のモアイ像の修復などに携わる。国内外の石造り遺跡の修復や発掘において独学で技術を開発し、数多くの文化財の保存に尽力したとして、平成19年吉川英治文化賞を受賞。

新たなエンターテインメント・コンテンツを発信

③「ロボット・スキャンダル」プロジェクト(TMO主催事業)

グランフロント大阪では、テクノロジーと文化の融合による新たなエンターテインメントコンテンツとの提案として、音楽とロボットとのコラボレーション「ロボット・スキャンダル」プロジェクトをスタートします。

本プロジェクトには、世界的なロボットクリエイター高橋智隆氏（株式会社ロボ・ガレージ代表取締役社長 東京大学先端科学技術研究センター特任准教授）と、大阪で結成され、今や日本を代表するガールズバンドとして海外でも高い評価を受けるSCANDAL(スキャンダル)が参加いたします。

高橋智隆氏が開発し、デアゴスティーニ・ジャパンより発売中のヒューマノイドロボット「ロビ」を用い、ロボットダンスや、楽曲作品、楽曲映像作品を製作し、本年7月下旬、グランフロント大阪にてコンサートイベントを実施し、「SCANDAL」と「ロビ」共演による楽曲をライブ発表いたします。

グランフロント大阪を舞台にしたロボットとアーティストによる共同作品製作を通じて、「つながりたい、未来が生まれるこの街で」をテーマに、この街から世界に向けて新しいコンテンツを発信していきたいと考えております。

ロボット監修：ロボットクリエイター高橋智隆

楽曲：SCANDAL

協力：株式会社デアゴスティーニ・ジャパン / ヴィストン株式会社

ロボットダンスプロデュース：株式会社 GEN

■プロフィール

高橋智隆 ロボットクリエイター



1975年生まれ。2003年京都大学工学部卒業と同時に「ロボ・ガレージ」を創業し京都大学内入居ベンチャー第一号となる。代表作に「ロビッド」「エボルタ」「ロビ」「FT」「Gabby」など。ロボカップ世界大会5年連続優勝。米TIME誌「2004年の発明」、ポピュラーサイエンス誌「未来を変える33人」に選定。エボルタによるグランドキャニオン登頂、ルマン24時間走行等に成功しギネス世界記録認定。2013年夏に国際宇宙ステーションに向けロボット打ち上げ予定。現在、(株)ロボ・ガレージ代表取締役、東京大学先端研特任准教授、福山大学／大阪電気通信大学客員教授、ヒューマンキッズサイエンスロボット教室顧問。

SCANDAL

HARUNA (Vocal & Guitar 1988.08.10 生まれ) / MAMI (Guitar & Vocal 1990.05.21 生まれ)

TOMOMI (Bass & Vocal 1990.05.31 生まれ) / RINA (Drums & Vocal 1991.08.21 生まれ)



2006 年 8 月、大阪のボーカル&ダンススクールで出会った女子高生 4 人で結成。結成後間もなく、大阪城公園にある通称「城天(シロテン)」でストリートライブを始め、地元関西のライブハウスにも出演するようになる。

2009 年 10 月 21 日リリースのデビューアルバム「BEST★SCANDAL」はオリコン初登場 5 位を記録。

2009 年第 51 回輝く！日本レコード大賞新人賞を受賞。

2012 年 3 月 28 日には日本武道館ワンマンライブを開催。

結成から 5 年 7 カ月での武道館公演というガールズバンド史上最速記録を打ち立てた。

2013 年 3 月 3 日にはインディーズ時代からの夢の舞台・大阪城ホールワンマンライブも開催。

ロビ

デアゴスティーニ・ジャパンより発売中。「週刊ロビ」として毎号付属のパーツを組み立てると、愛くるしい動きや会話を楽しめるロボット「ロビ」が完成するマガジンシリーズ。音声認識による会話や人感センサによる人検知、テレビ操作、ダンスなどのコミュニケーションを行う自律的型のフレンドリーロボットで、高橋智隆氏が開発とデザインを担当した。身長約 34cm 体重約 1kg。創刊号初版が完売するなど、好調な売れ行きも話題になっている。

2. まちづくりのビジョンを実現するためのコミュニケーション・プラットフォーム

(1) “あなたの夢”を叶える地域サークル活動の支援体制「ソシオ制度」

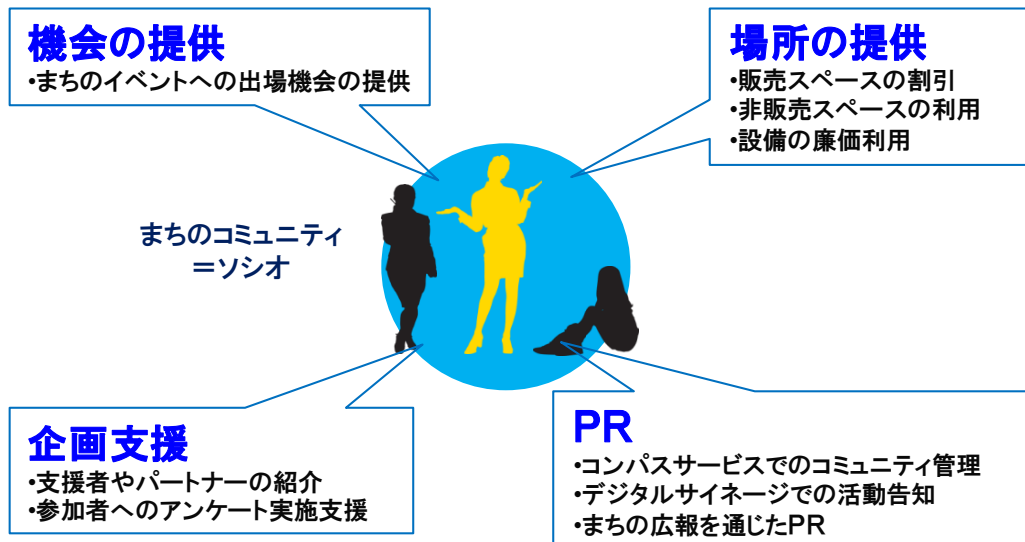
グランフロント大阪では、「新しい参加型のまちづくり」という開発ビジョンを実現すべく、豊かなオープンスペース等を活用し、自らの夢の実現を通じて地域・社会に貢献していただける地域サークル活動を支援する「ソシオ制度」をスタートします（開始時期は本年5月頃を予定）。このソシオ制度の活動を通じて、人の営みが育てるまち「グランフロント大阪」を実現します。

現在、関係者を中心に、先行的なソシオの形成をおこなっております。この度、具体的にご紹介するのは「健康」「アート」「伝統文化」「食」をテーマにした4つのソシオ（うち2件は既に発表済み）。今後、これ以外にも「エコ・環境」「スポーツ」「音楽」「ファッション」「おはなし/笑い」等をテーマにしたソシオ活動の支援を予定しております。

■「ソシオ」活動の支援内容

ソシオ活動の舞台、ステージとなるオープンスペース等の提供や利用優遇のほか、ソシオ活動に必要な協力先・支援団体の紹介や、さまざまな情報発信活動(配布ツールやコンパスサービスを通じた情報発信等)をサポートします。

■「ソシオ制度」の運用 — まちのコミュニティ推進者を育てるしくみ



※「ソシオ」活動の方向性

「自己実現・地域貢献・社会貢献」の「三方よし」。

【自己実現】 ソシオ活動を通じた、皆様の夢の実現をグランフロント大阪は応援します。

【地域貢献】 ソシオ活動を通じた、地域の笑顔を広げる活動をグランフロント大阪は応援します。

【社会貢献】 ソシオ活動を通じた、社会貢献活動をグランフロント大阪は応援します。

※「ソシオ」への登録・参加について

「ソシオ」への登録を希望される団体または個人の方は、活動計画書をご提出ください。TMOによる承認を経て、その代表者の方を「ソシオキャプテン」に登録いたします。承認を受けたソシオへの参加については、ソシオキャプテンの承認があれば、どなたでも参加いただけます。なお、現在、関係者を中心に、先行的なソシオの形成を行っておりますが、一般の方からのお問い合わせ・登録申込については、本年5月頃に開始を予定しております。

■各ソシオの活動概要とソシオキャプテンの「夢」

◆誰かのために役立つこと、楽しみながら学ぼう！

【テーマ：健康】 AEDの使い方を身につけて、市民救助者の多いまちをつくるコミュニティ

ハートソシオ



ソシオキャプテン石見 拓氏
PUSH プロジェクト代表／京都大学
准教授／NPO 法人 大阪ライフサ
ポート協会副理事長

■キャプテンの夢

大阪を、日本一“市民救助者”の多い都市にしよう！

いつでも、どこでも、誰にでも起こりうる心臓突然死。その数は年間6万8千人にも及び、何の前触れもなく尊い命が奪われています。それでも多くの方々の関心が低いのは、“自分ごと”として実感できないからです。あまり知られていないことですが、大阪は世界屈指の救急救命医療エリア。面積当たりのAED設置台数では日本で1、2を争っています。もし多くの方が AED の使い方を含む心肺蘇生術をマスターすれば、大阪は「世界でいちばん人の命を思うまち」になります。市民救助者をひとりでも多く生み出し、ひとりでも多くの命を救う。グランフロント大阪を拠点に、私は夢の実現に向けてライフワークに取り組みます」！

■活動詳細

5 月中旬から隔週平日の夜実施。うめきたSHIP HALLにて、心肺蘇生の第一人者である石見拓氏らプッシュインストラクターが、AED の使用法のワークショップを開講します。受講者は、まちに訪れるお客様だけではなく、このまちで働くオフィスワーカー、店舗スタッフなども対象。ひとりでも多くの方が AED の使い方を含む心肺蘇生術を身につけることで、グランフロント大阪を発火点とした「世界一市民救助者の多い都市・大阪」をめざします。また、グランフロント大阪のどこでケガや急病人が発生しても、駆け寄って応急手当のできるスタッフを養成するグランフロント大阪の危機管理プログラムも提案します。

【テーマ：伝統文化】 京都の伝統文化を通して豊かな心を育むコミュニティ



ソシオキャプテン木林威夫氏
ウィズプロジェクト株式会社
代表取締役/プロデューサー

■キャプテンの夢

京都伝統文化ソシオ

京都・伝統文化のカジュアル体験を通じて、日本独特の『おもてなしの心』を広めたい。

先人が 1200 年以上かけて培ってきた日本の伝統文化。そこには思いやりの心、先祖を敬う精神、自然や季節を愛おむ感性といった日本人ならではの美学が脈々と息づいています。そんな伝統文化の真髄を、グランフロント大阪を発信拠点として、多くの人に見て、触れて、感じていただきたいという思いから、京都の一流文化人協力のもと、和歌、書、伝統工芸、音曲、華道、茶道など、さまざまな伝統文化を学べる講座・イベントを開催します。

日本の伝統文化をカジュアルに体験できる教室を通じて、日本人が培ってきた「おもてなしの心」という宝を、一人でも多くの方々に感じていただき、京都から贈られた文化の種を、ここ「うめきた」で大きく開花させていきたいと思っています。

■活動詳細

6 月から隔週平日の夜、うめきたSHIP HALLにて実施。

京都の一流の文化人、師範、匠をお招きして、京都の伝統芸能を学んだり鑑賞したりできる講座・イベントを開催。女性向けには「グランフロント大阪からたくさんの大和撫子を生み出そう」を目的とした「なでしこ塾」を開催。和歌と書道、琴、京扇子絵付けなどの講座を企画しています。男女問わずに参加できる講座・イベントも順次開催予定。

【6 月の活動予定】

●「和歌と書道」/講師:吉田山荘 女将 中村京古氏

季節にあわせた和歌を紹介。先人の心の動きをなぞりつつ、短冊に書として歌をしたため、大和撫子としての心を磨いていきます。

【6 月以降の活動予定】

●「琴の教室」/講師:生田流箏曲日本音楽大同派家元 大月宗明氏

●「京扇子絵付け教室」/協力:大西常商店 などを予定

【テーマ：アート】 参加できるパブリックアートコミュニティ

まちデコソシオ



■キャプテンの夢

子供から大人まで、一緒に楽しみながらまちをデコレーション！

グランフロント大阪はひとつの“まち”にして、巨大なギャラリー。そのまちをみんなでデコレーションすれば、とってもおもしろい「まちアート」が出現します。たとえば、使用済みのコーヒーの粉を使ってせせらぎテラスに枯山水を作ってみたり、お菓子の巨大オブジェを作ってみたり…。関西らしいモノや素材を使い、季節感も盛り込んで、ワクワクしてくる予感が感じられるアイデアはいっぱい。自由に参加できるパブリックアート「まちデコソシオ」を通じて、笑顔が溢れるまちをみなさんと一緒に作りたい。子供もおっちゃんもおばちゃんも、みんな参加してや！

ソシオキャプテン 千秋育子氏
イラストレーター、アーティスト

■活動詳細

6月から隔月1回以上、グランフロント大阪内オープンスペース各所にて実施。

企業と連携しながら、大阪ならではのモノや素材を使い、まちをキャンバスにした参加型パブリックアートイベントを開催し、まちをデコレーションします。また、より多くの方にまちデコを通じたまちづくりに気軽に参加できるように、協力いただける企業や提供いただける商品も広く募集しています。

第一弾は、「珈琲枯山水」。珈琲枯山水では情熱とか冷静とか、関西らしく淀川とか(笑)表現してみたいですね。地面に色をつけたり、ライトアップをしたりして、仕上がりはポップなイメージで。庭の中では、京都の茶人の方からお聞きした「珈琲茶会」もぜひやってみたいんですよ。

【テーマ：食】 おいしいものをおいしいときに食す“旬食”を提案するコミュニティ

旬食ソシオ



■キャプテンの夢

「天下の台所」「食の都」「くだおれ」この街の食文化を守り育てたい

「食」は最大のコミュニケーションであり、人と人の絆を深め、笑顔を作ります。そんな大切な「食」の世界において、大阪は昔から「天下の台所」「食の都」「くだおれの街」として親しまれてきました。これもひとえに、大阪のまちが、そして関西というエリアが、“作り手(料理人)”“食べ手(お客様)”,そして“食材”という食文化の三要素の全てを大切に守り、育ててきた結果ではないかと考えています。

私は、大阪、関西の新しい玄関口となる、このうめきた「グランフロント大阪」を舞台に、ここを訪れる多くの皆様とともに、新しい食文化の創造にお役に立ちたいと考え、このたび「旬食ソシオ」を設立する事になりました。このコミュニティ運営を通じて、“作り手”“食べ手”、“食材”産地、そのいずれもが元気になる、そんな活動がご提案できればと思います。

ソシオキャプテン 竹内則友氏
株式会社ぐるなび大阪営業所 所長

■活動詳細

グランフロント大阪「うめきた広場」に情報発信スペースを設置する事を切っ掛けに、“旬食”を体験していただく活動として、5月から「プチマルシェ」等の催事を定期開催してまいります。この「プチマルシェ」には BtoB サポートという目的もあります。よって、一般の来場者の方は勿論、グランフロント大阪のテナントレストランをはじめとした近隣飲食施設の皆様にも多数ご来場いただき、一体となって、旬の食材をご提供頂く産地の支援を行うとともに、新しい食スタイルの提案をおこなっていきたくと考えています。また、将来的には、グランフロント大阪のレストランの皆様のご協力も頂きながら、このまち全体を使って、注目食材の体験イベント等も実施していきたいと考えています。

〔一般の方からのソシオ活動に関するお問い合わせ先〕

ソシオ事務局準備室 e-mail : info@socio.jpn.com

2. まちづくりのビジョンを実現するためのコミュニティ・プラットフォーム

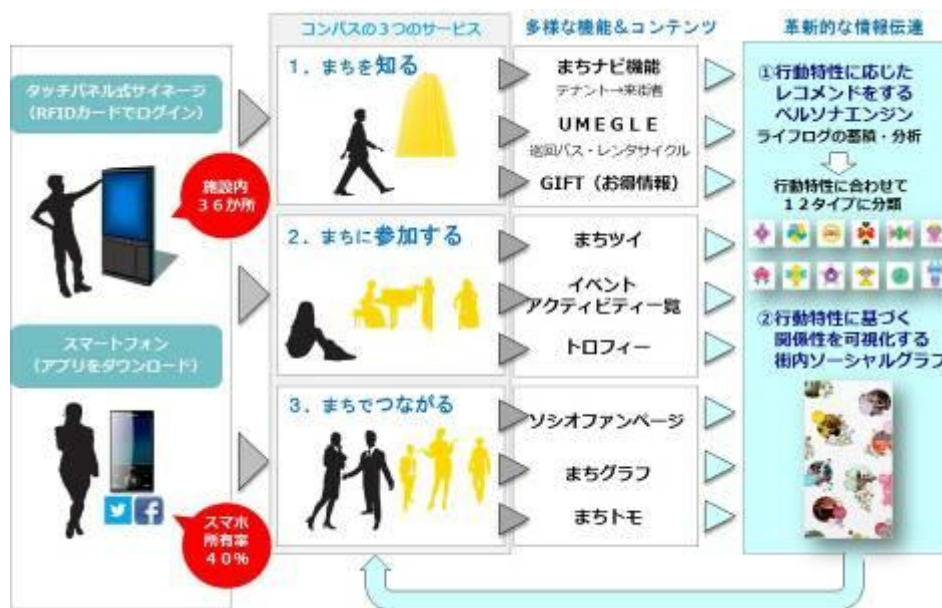
(2) まちや来街者との新たな交流を育む「コンパスサービス」

グランフロント大阪では、人とまちが相互に交流を楽しみ、そこに新たな人と人のつながりが生まれる、新しい人とまちの関わり方をつくるサービス「コンパスサービス」の提供を、まちびらきの4月26日（金）よりスタートします。

コンパス（Compath）とは、「Community Path」の略称(造語)であり、このまちでさまざまな「コミュニティ」が生まれるための「道筋」となってほしい、との思いも込めたサービス名称であり、このまちを最大限に楽しむための羅針盤(コンパス)という意味も込められています。

■「コンパス」が提供する3つのサービスとコンテンツ

「コンパスサービス」は、単なる情報検索機能にとどまらない多彩な機能を搭載し、より気軽にアクティブにまちに参加して楽しめる3つのサービスを提供します。



※「コンパスサービス」が提供する3つのサービス

① まちを知る

まちナビ機能(ショップの詳細情報など)/UMEGLE(うめぐる/エリア巡回バスの現在位置表示やレンタサイクルの貸出状況など)/GIFT(さまざまなお得情報など)

② まちに参加する

まちツイ(イベントやショップ・商品の感想などをツイートできる)/イベントアクティビティー覧(参加可能なイベントやワークショップなどをリアルタイムに反映)/トロフィー(グランフロント大阪内で、ある一定の条件を満たす行動をした時に手に入れることができる称号。)

③ まちでつながる

ソシオファンページ(さまざまなソシオの活動報告など)/まちグラフ(アンケート結果)・まちトモ(まちを通じて出会った仲間のお友達登録)

■タッチパネル式サイネージ「コンパスタッチ」と「スマートフォンアプリ」でアクセス

「コンパスサービス」は、グランフロント大阪内の36カ所に設置されたタッチパネル式双方向サイネージ「コンパスタッチ」、もしくはスマートフォン専用アプリ「グランフロント大阪コンパス」をダウンロードすることでアクセスできます。

●グランフロント大阪内36カ所の「コンパスタッチ」からのアクセス

「グランフロント大阪ショップ&レストラン」対象店でご利用いただけるポイントカード「グランフロント大阪 OSAMPO CARD (おさんぽカード)」をはじめとしたICチップ付きカードをコンパスタッチのカードリーダーにカざすだけで、自動的にユーザー登録が完了。そのまま「チェックイン」すればアクセスできます。



コンパスタッチ



コメントやリコメンド
をMAPに表示



施設、イベントに詳細
情報やコメントを表示



巡回バスの
現在位置を表示

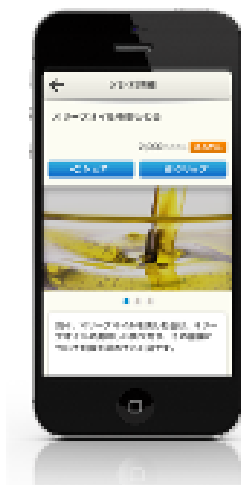
●「スマートフォンアプリ」からのアクセス

スマートフォンで専用アプリをダウンロードすれば、いつでもどこでもコンパスサービスを利用できます。

このアプリを使って、コメントを投稿するとMAP上に吹き出して表示されます。

■アプリ概要

- ・名称: グランフロント大阪コンパス
- ・提供価格: 無料
- ・提供場所: App Store、Google Play
- ・提供開始: 2013年4月22日(月)※予定



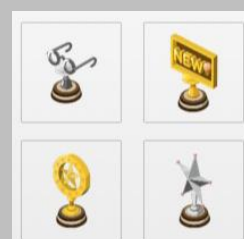
■リアクションするほど「思わぬ出会い&新しい発見に溢れたリコmend」を発信

「コンパスサービス」は、来街者のリアクション(「チェックイン」やまちのコンテンツに対する「いいね!」など)から来街者の行動情報(ライフログ)を蓄積し、行動特性を分析する独自の「ペルソナエンジン」を搭載しています。また、多くの人が街でのライフログを蓄積すればするほどに、まちでの情報伝達ルートやコンテンツが充実し、より選択可能性の高いまちに成長していきます。

まちが来街者をより理解・学習して、まちで新たな発見をする楽しさや回遊する楽しさを実感できるよう、一人ひとりの感性やニーズにフィットした情報を適切な情報伝達ルートで提供する。それが、「コンパスサービス」最大の特徴です。

●トロフィー

グランフロント大阪内で、ある一定の条件を満たす行動をした時に手に入れることができる称号。
「まちが主催するイベント等でのスペシャルプレゼントがもらえる」などといった特典をつけ、街を楽しんでもらえる動機づけとする予定。



■高いエンターテインメント性でもっとタッチしたくなる!“情報コンシェルジェ”「クピ」

「クピ」は、コンパスサービスにユーザー登録すると現れるかわいいオリジナルキャラクター。グランフロント大阪での行動をサポートするコンシェルジェのような存在で、その時の状況にあわせて気に入りそうなショップや似た趣味や趣向の人が参加しているイベントなどをオススメしてくれます。

さらには、来街者の行動や気持ち、つながりを学習して、よりフィットする情報を届けるように、変身するという高いエンターテインメント性も兼ね備えています。よりフィットする情報を届けられるよう、ライフログの蓄積を促進するための“もっとタッチしたくなる演出”です。

●12種類のオリジナルキャラクター「クピ」

クピは全部で12種類。来街者はユーザー登録すると、行動特性などに応じて12タイプに分類され、それぞれのタイプのクピが出現。その後の行動やつながりに応じて、変身していきます。



■人的ネットワークを広げる「街内ソーシャルグラフ」を今秋導入予定

まちびらき以降、コンパスサービスが多数の方に利用され、たくさんのライフログが蓄積された状態になる今秋には、行動特性によってユーザーの人間関係性をより可視化できるソーシャルグラフ機能を導入します。

この街でのソーシャルグラフを提供する事で、ユーザーは自らを他のユーザーと相対的にみる事ができ、ソシオキャプテンや馴染みの店長といった信頼できる人づてに新しい行動を興すきっかけを得る事ができます。

※参考-----

■(株)電通国際情報サービスとの共同事業

- ・本サービスは、共同企画者である株式会社電通国際情報サービス（以下「ISID」）が開発するソーシャルプラットフォーム「+fooop!」を世界で初めて適用します。
- ・ソーシャルプラットフォーム「+fooop!」は、ISID が研究開発および事業化を進める、まちの IT プラットフォームのブランド名です。まちを訪れた人の趣味や興味関心事、購買履歴といった情報に、まちで行われるイベントや当日の天候などの情報を加味して、その時々、一人ひとりの状況にあわせた情報提供を行い、まちと人、そして人と人とのリアルなコミュニケーションを促進します。

以上

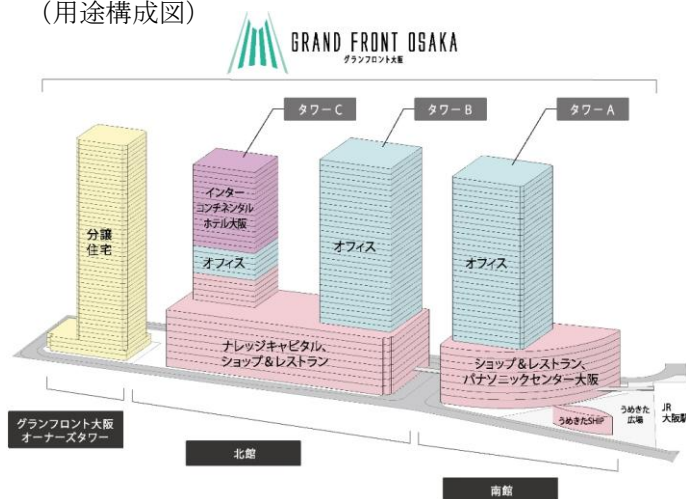
【参考】「うめきた先行開発区域プロジェクト「グランフロント大阪」について】

梅田貨物駅を中心とする約 24ha の「うめきた」（都市再生緊急整備地域内）において、2005 年 6 月に先行開発区域（約 7ha）として UR 都市機構が「大阪駅北大深東地区土地区画整理事業」に着手、地権者である UR 都市機構と鉄道・運輸機構が開発事業者を募集。2006 年 5 月、11 月に開発事業予定者が決定され、2007 年 6 月に土地の引き渡し完了。2008 年 2 月に「都市再生特別地区」として都市計画決定。2010 年 3 月に新築工事着工し、2013 年 3 月末竣工、同 4 月 26 日にまちびらき予定。オフィス、商業、ホテル・サービスレジデンス、分譲住宅、ナレッジキャピタルにて構成。

（全景写真）



（用途構成図）



（位置図）

